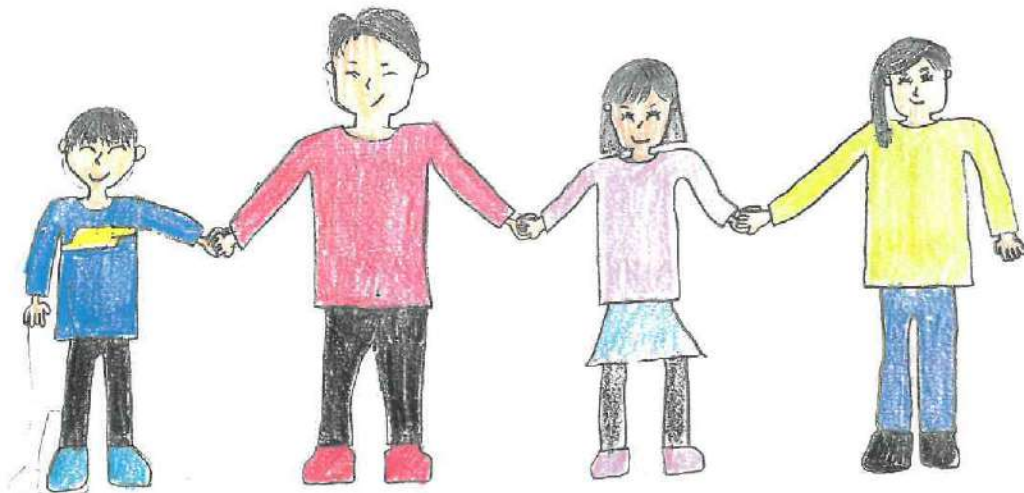
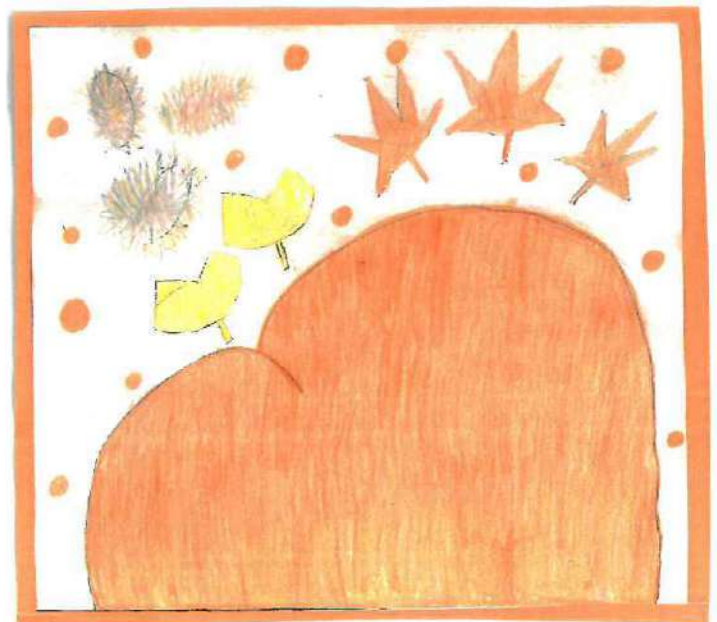
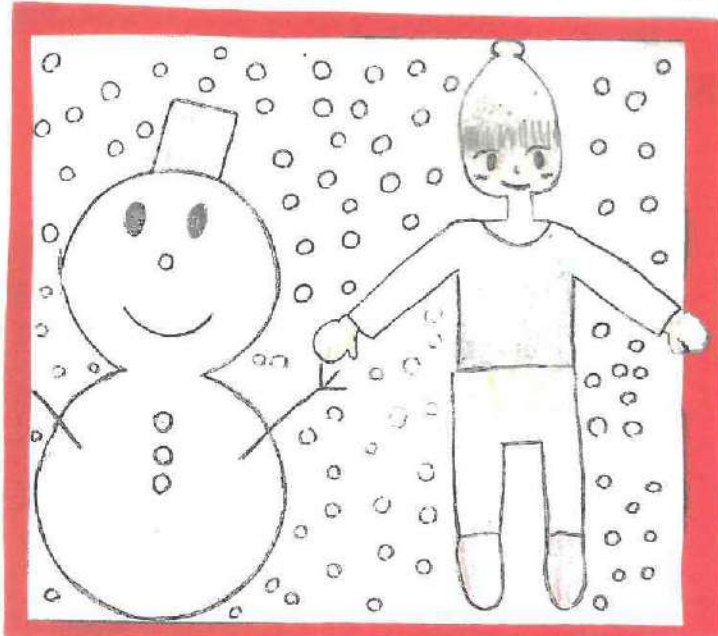




2021 年度
文集
かじか

宮城子ども会育成会連合会



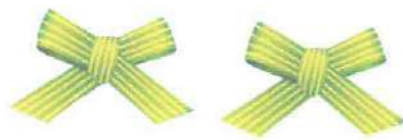
「文集かじか」とは…

子ども会活動に関する子ども会会員の作文集です。

宮城子連(MKR)では、子ども会の文集制作活動を支援しています。

主役は子ども。世話役の大人は子ども達の秘書としてサポートして頂けると良いでしょう。大人目線での良し悪しより、子どもが良いと思うものを作るのが子ども会です。

こどもの自由な発想や感性を残す、文化活動です。



目的

○子ども会活動で経験したことや感じたことを、子どもたち自身が作文にまとめることで活動の楽しさや地域との関わりを考える。また他の子の作文を読み、子どもとおしの理解を深める。

○子ども会にかかわる育成者だけでなく、地域の人たちにも読んでもらい、子ども会活動への理解や協力につなげる。

○文集かじかの制作過程での情報交換等を通じて、各育成会、育成者同士の連携を図る。

育てられ奮闘記 「文集かじか・発刊に寄せて」

子育てをしている時、自分はどんな感じで育てられたのか？なんて振り返る事はありませんか。あの時母はこう言っていたとか、あそこに連れて行ってもらったとか。六〇年前の出来事です。から記憶が曖昧な部分もありますが、母が残してくれた写真アルバムとそれに書き加えられたコメントで当時を思い出す事が出来ます。

写真アルバムには親子お揃いのシャツを羽織った海辺の写真があります。母が裁縫したものです。小学生時代は殆ど母が作った洋服を着ていましたが、それは結構コンプレックスでした。みんなと違う!!父の会社の社員旅行でスキーに行った写真もあります。山形蔵王に幼稚園時代から行ってみたいのです。九六番のゼッケンを付けていて、転んで逆さになっても九六

番と母のコメントが残っています。一人息子だから甘えて・・・と言われるのを母は一番嫌い、試練を与えられたようにも記憶があります。写真はありますが、ボーイスカウトの泊まり込み合宿などに独りで送り出されました。それらは今新川で活動している原体験です。

母親の写真アルバムは小学校卒業で終わっています。中学に入るとクラブ活動や何やらで親子で過ごす時間が無くなった事に加え、被写体としてもお互いつまらなくなったのでしょう。デジカメなど無い時代ですから中学高校時代の写真記録は「卒業アルバム」しかありません。自身の「育てられ方」をちょっとだけ振り返ってみました。それと「育て方」を重ねてみると、やはり中学以降親子の時間は無くなって

います。一人息子は東京に大学進学したので八歳で別居です。間もなく社会人ですが、考えればあつという間の子育てでした。もう既に息子に意見される立場になりましたが、新川の自然を背景に濃密な時間を共有出来たのは親子の絆だったと思います。

大変な子育てですが、今集中しなければ直ぐに時は流れてしまいます。我々子育てOBは皆さんを応援し親子の絆造りの機会を提供させて頂きます。

宮城子ども会育成会連合会

会長 小島 吉雄

目次

○育てられ奮闘記

会長 小島 吉雄

「八丁目コアラ子ども会」

- 『みんなのうえん さつまいもほり』二年生
- 『子ども会で楽しかったこと』四年生
- 『仕事を体験したい』五年生

(3)(2)(1)

「栗生二丁目子ども会」

- 『資源回収』五年生
- 『子ども会の思い出』六年生
- 『支えられた六年間』六年生

(6)(5)(4)

「二岩北 はやぶさ子ども会」

- 『たなばたかざりをしたよ』一年生
- 『たなばたかざり』一年生
- 『なつのあついたなばた』一年生

(9)(8)(7)

○『七夕かざり』二年生

○『きれいな七夕かざり』二年生

○『七夕』二年生

○『七夕』二年生

○『七夕かざり』三年生

○『楽しいはやぶさ子ども会』三年生

○『七夕かざり』四年生

○『七夕かざり』五年生

○『大きな竹の七夕かざり』五年生

○『クリスマス会の話合い』二年生

「二岩南 フレンズ子ども会」

○『夏のお楽しみ会』五年

○あとなぎ M R V C くまっこ O G 山下 菜央

(20)

(19)(18)(17)(16)(15)(14)(13)(12)(11)(10)

（タイトル「みんなののうえんきつまいもほり」）

タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

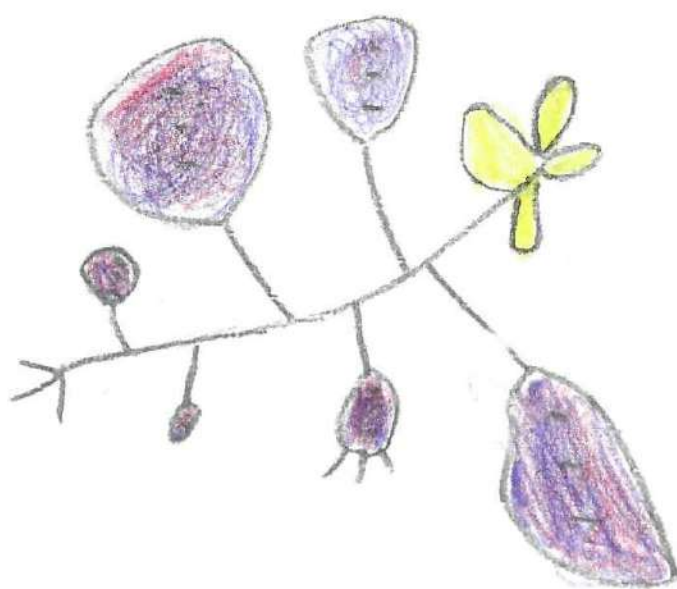
八丁目コアラこども会

二年

ぼくは、二年生になって、はじめて子ども会にきこんかしました。

五月に「みんなののうえん」でさつまいものうえつけをしました。さつまいものなえに元気がなかったのので、ちゃんとしさつまいもができるのかなと心配していました。が十月にはリッぱなさつまいもができていました。

大ッ学いもにして食べべたうおいしかったです。



（タイトル 子ども会で楽しかった事）

タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

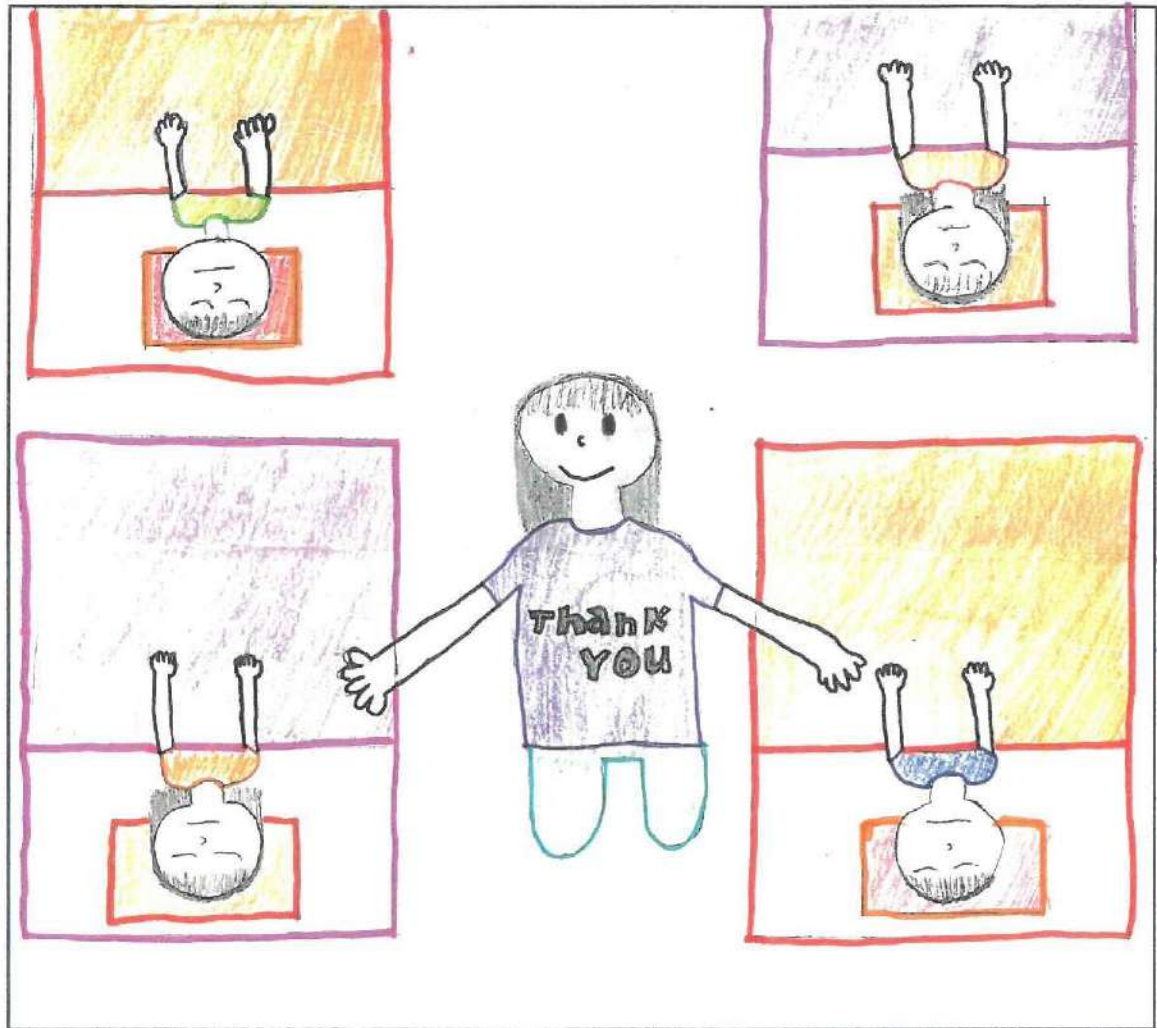
コアラ こども会 4 年

子ども会で楽しかった事は、公園の木をクリスマスツリーにした事です。木にしエロイルミネーションをつけて、みんなが書いたクリスマスの絵をオーナメントにしてかざりました。

暗くなってしエロイルミネーションが光ると、赤や青の光りがとてもきれいです。寒いけれど、みんなが見に来ていました。雪がつもったらもっときれいになりそうだなと思いました。楽しかったです。



(タイトル 仕事体験をしたいの。)

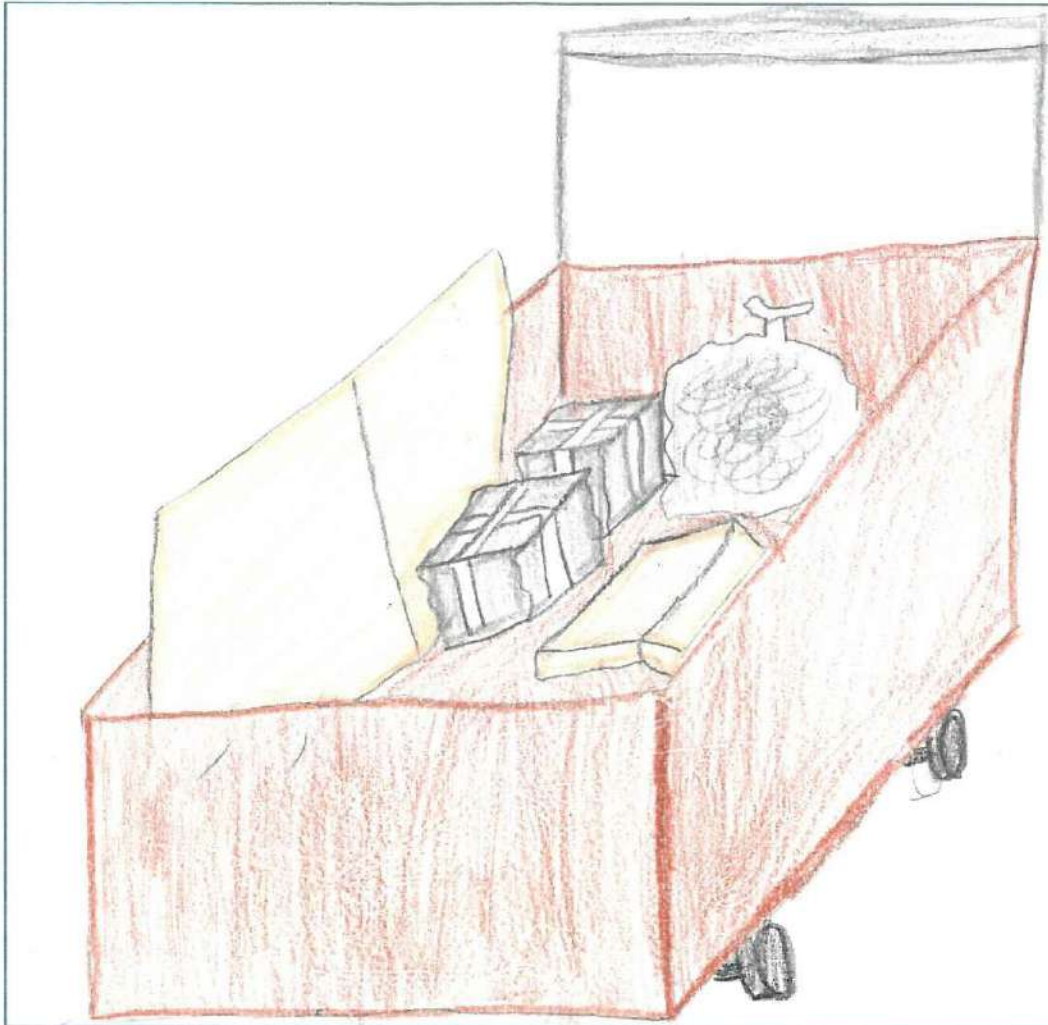


(タイトル・こども会名・学年・名前 を書こう)

コアラこども会 5年

私はしょうらい、保育士になりたいです。
私は、友だちに思いやりを持って、小さい子をお世話したり、泣いている子がいたらやさしく、「だいじょうぶ。どうしたの。」と話しかけたりしています。私は、小さいころ保育所でとてもやさしい先生がいて、(私も保育士になって小さい子たちに、やさしい先生だな)と思われたと思います。保育士になりたいと思いました。私は、保育士になれたら、まわりに目をくばり、自分の役わりを自覚し、せきんをはたしてりっぱな保育士になりたいです。

(タイトル) 資源回収



(タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

栗生 2 番 こども会 5 年

ぼくは、毎回資源回収に参加しています。学校では話さない他の学年の子や地域の方と会話ができたり、エコ活動にこうけんできていると思うと、とてもうれしいからです。今年は高学年になり、6年生の代わりにカートをおしたりと大変なことが増えたけど、来年度は6年生なので、子供会のイベントをまぎいしたりとっと仕事が増えます。なので、下学年から信らいいれるような6年生になるために、まずは資源回収を活やくしたいです。

タイトル「こども会での思い出」



タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

栗生二丁目こども会 一六年

私のこども会での一番の思い出は、
クリスマス会です。毎年やっているビンゴ
も楽しかったですし、ほかにも毎年ちが
うゲームをやるのも楽しかったです。

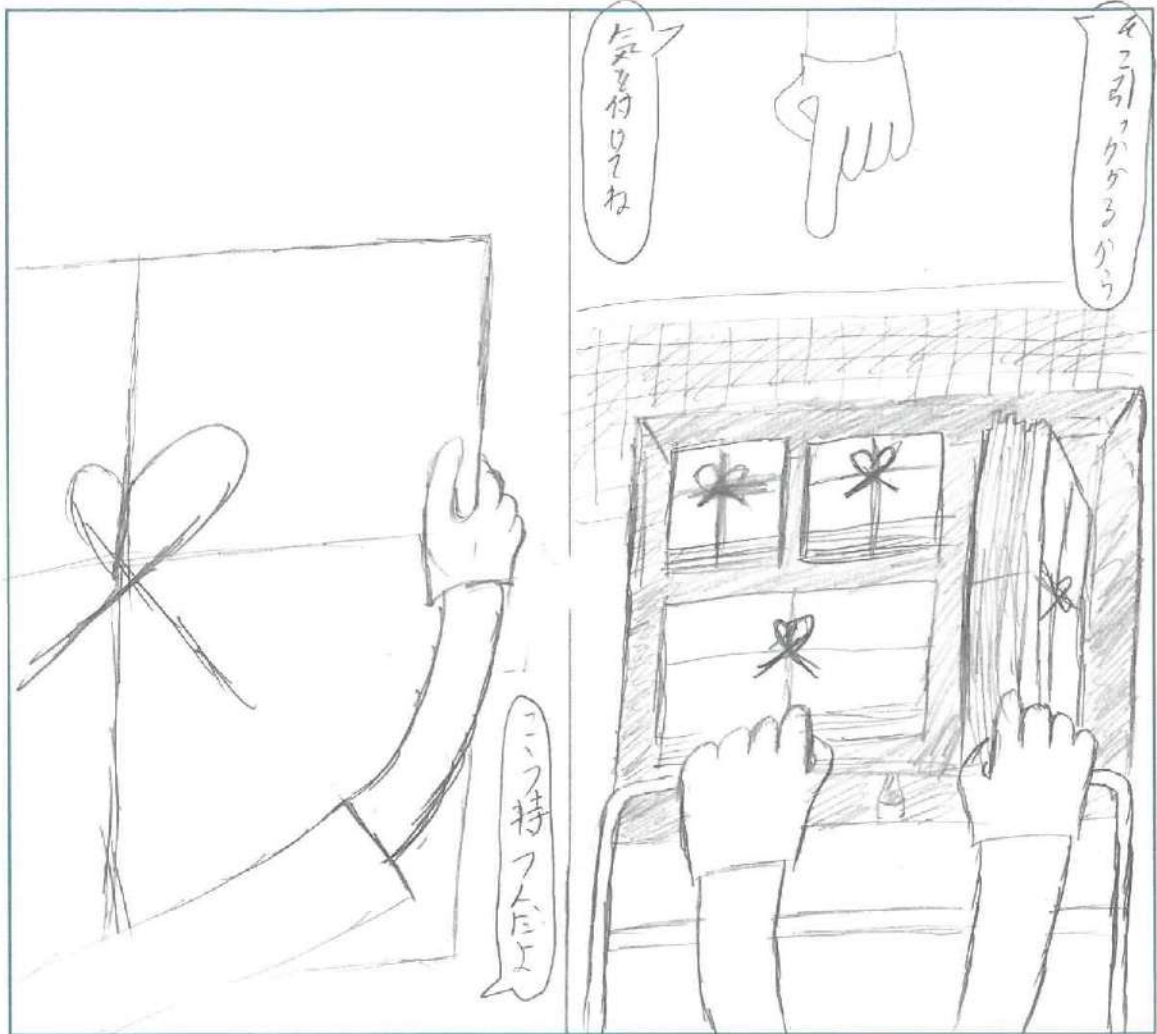
さらに、クリスマス会では景品やおかしな
もらえらるので毎年、今年のクリスマス
会は何がもらえるかな？と楽しみに
していました！！

私は六年生なので来年からはイ
バントなどに参加することができ
なくなりますが、こども会でやったことは
一生忘れません。資源回収を手伝って
たかったお母さんがたや、お父さんがた、ありが
とございました。

その他のかたがた

タイトル・支えられた6年間

タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう



こども

こども会

6年

ぼくは、このこども会と社会での6年間で、先づいづれ、保護者の方々に支えられて来ました。

ぼくは、社会会の活動の中で最も、1年上の子に支えられて、たすけをよく覚えています。

いまだ、学校でも仲が良かったのですが、その仲の良さが、子ども会ではよく支えられてきました。

物の運びや、保護者が、何学年の子と接し方について、

簡単に話す時のコツなども教えてくださいました。

6年生で、支えられました。

今までの活動を支えてくれた方々、先づいづれ、中学生で生活していけるといいかと思っているの、子ども会の思いい出をわすれまいようにしたいと思います。



(タイトル たかばたかべーりをしたよ)

タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

はやふさ
こども会
1年

「こどもかいでたがばたかざりをし
ました。わたしは、たがばたかのねかい
ごことにいざんしゅんになれますように
とかも言いました。かいとあとおりに
かみでたがばたのかざりをつくり
ました。

いふんのねが、いふこと、大々、五たけに
おざられて、すくなくうれしいです。

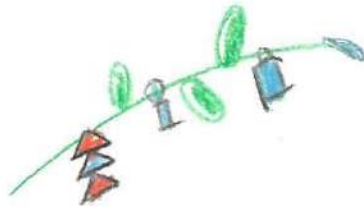
タイトル

たなばたかざり

タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

はやぶさこども会 一年

はじめのこどもかいでは、
コロナウィルスがあつて、いん
なことはできませんでし
た。だけどたなばたかざりを
おうちでつくってこうえん
に、かざったことがたの
しかったです。

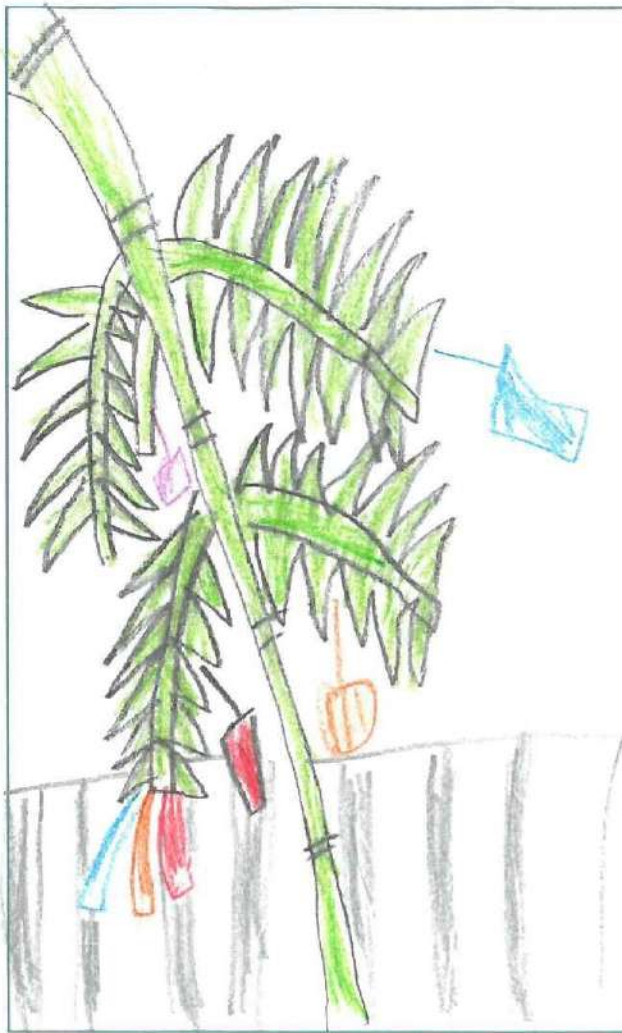


(タイトル) なつのあついたなはた

タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

おやへざこども会 一年

たなはたづくりたくさくつ
くれよかつたです。



(タイトル)

七ツカザリ

タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

はなぐさこども会 2 年

ミウ・ス・ンド
七ツカザリ
がくねん・なまえ
をかこう

（タイトル）すてきな七夕かざり



（タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ）をかこう

はやしきこども会 2年

ぼくは、七夕かざりを作りました。

たいへんだったことは、おりがみをおるつてです。

いろいろなおり方をあつて、いろいろあつてです。

作るのはいへんでした。でもいろいろなおり方をあつたよ、べつとうれしかったです。

タイトル

七夕



タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

早ふきども会 2 年

たぐさんの人がかざりつけして
くれてきれいなぐさになり、
うれしです。

タイトル
七夕



タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえをかこう

はやぶさこども会
2年

(タイトル

ヒタかざり

タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

はやぶさこども会 二年

ヒタかざりの紙がたくさんあ
てきれいでした。

大きな竹にねがい事を書いた紙
をかざりました。そのあとにねが
い事がかなうといいなと思いまし
た。

また来年もできたらいいです。

（タイトル 楽しいはやぶさこども会）

タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

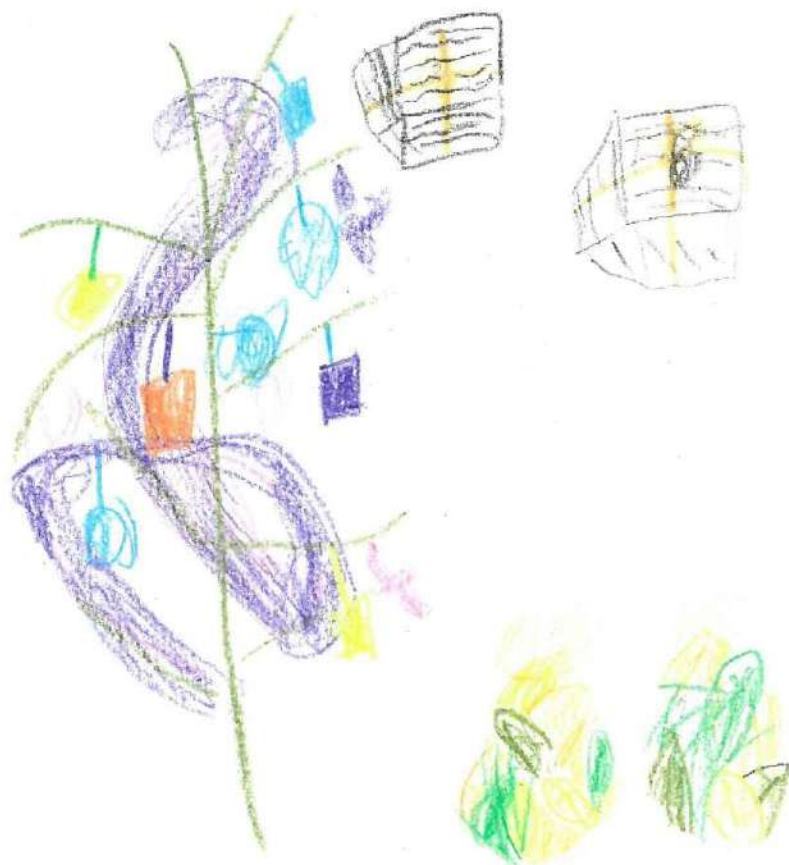
はやぶさこども会 3年

わたしは、はやぶさこども会が大すきです。

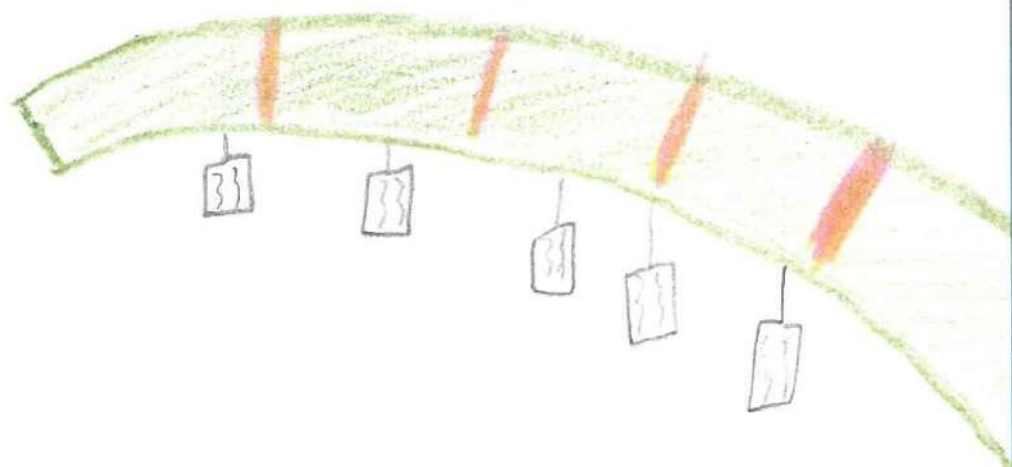
なぜかというところや、げん回しゅう、セタ、いろいろなことが、どこかに行かなくても家の近くで、できるところも、楽しかったです。

あと、このなかでいちばん楽しかったのは、きれいな紙に、ねがいごとを書くのがとても、楽しくて、心にのこっています。

来年もできたらうれいいます。



(タイトル) 七夕がざり



タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

はやぶさ、こども会 四年

「ほくは、夏休みにお子とも会のもろがざりをつくりました。」

お兄ちゃんとお母さんといいし、おじい紙でわがををつくらしりました。それから公園の竹にがざりしました。みんなの作ったがざりものたちとさんあつて、きれいだなと思しました。

ぼくは、ゴロナがおさまたら、いろいろなところにおびにまきたいとねがいつとちにかきました。

来年も七夕がざりをしてまたいろいろなとおもしろい。

（タイトル）セタかざり

タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう



二岩北
「あさひ」こども会 五年

たくさんセタかざりがかざり
てありました。たくさんのお
願いがありました。叶うと
いいなと思いました。
私は、妹と、吹き流しを作
りました。本格的なかざり
を作れたのが良かったです。

タイトル

大きな竹のてみかざり

タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

はやみさ

こども会

五年

友達と願い事をかいてかざりに行きま

した。たくさんかざりがあっときれいでし

た。

また来年もかざりたいです。

(タイトル) クリスマス会の話し合い

タイトル・こどもかいめい・がくねん・なまえ をかこう

はやぶさこども会 2年

クリスマス会での話し合いで
ぼくは、しか、あ、どの、ほくま
ぶくぎ長での、とてもきこんち
ようした、げど、ゆう、気を出
て、ぼくが、ニコニコ、さ、せ、く、言
ました、あ、な、み、に、ほく、は、は、じ
め、を、や、り、ま、し、た、。

（タイトル）「夏休みのお楽しみ会」



タイトル・子ども会名・学年・名前 を書くところ

フレンズ 子ども会 五年

私は、夏休みに、子ども会で夏のお楽しみ会をしました。花火がビンゴをしたところも楽しかったです。来年もやりたいです。

●●文集かじか実行委員●●

SSKRT R

(栗生・栗生二丁目)

OYAK N

(愛子・二岩)

OYAY K

(愛子・二岩)

K T H (錦が丘・コアラ)

いもけんぴ (ジュニアリーダー)

おとは (ジュニアリーダー)

カリブー (ジュニアリーダー)

おっちゃん (MRVC くまっこOG)



あとがき

文集かじかをお読みいただきありがとうございます。
とうございます。

文集かじかは、子ども会活動に関する作文集で、例年は子ども会毎に世話人さんの大人と子どもで作成しています。しかし今年は、子どもたち自ら編集し、このような素敵な文集が完成いたしました。子どもたち主体で作ったからこそ、より子どもたちの思

いが詰まったものになっているのではないかと思います。

特に私がお気に入りなのは、表紙の絵です。「春夏秋冬」、「みんなが手を繋ぐ様子」をテーマに、実行委員の皆さんが描いてきてくれました。色彩豊かで優しい気持ちになれるような絵が、一つ一つの作文の楽しさを引き立たせ

てくれるように感じました。

今回私は、子どもたちの見守り役として、文集作成に携わらせて頂きました。その中で感じたことは、子どもたちのたくましさです。

別々の小学校に通っている子どもたちが集うため、最初は緊張しているように感じましたが、話し合い終盤には、

お互いの名前を呼び合いながら発言する様子も見られるようになりました。

各自が意見をしっかりと、他の人の意見にも耳を傾けながら、文集の内容や作文を掲載する順番など、文集に関わる事項を決めていきました。また、

話し合い以前の作文を集める段階では、作文の作成を一人一人に依頼して回ってくれたというお話も聞きました。

このように、子どもたちの、自他の意見を尊重しながら丁寧に決めていく姿、今回の文集作成にあたり精いっぱい

頑張ってくれた姿がとても心強く感じました。

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、本来予定していたよりも少ない

回数での話し合いとなってしまったことは、非常に残念に思います。しかし、上記のような子どもたちの姿を見る

ことができて、私自身元気をもらいました。本文集を手にとってくださった皆様にも、編集に携わる子どもたちの姿を想像しながら読み返していただ

けたらと思います。

末尾になりましたが、文集かじか実行委員の子どもたちは勿論、かじかに掲載する作文を書ってくれた子どもたちや、話し合いを側でサポートしてくれたジュニアリーダーをはじめ、文集作成にご協力いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

文集かじか

発行

令和四年二月二十三日

企画・編集

文集かじか実行委員会

この文集に関するお問い合わせ
仙台市宮城子ども会育成会
連合会（MKR）事務局

